



64

こがしちょうしゃひろば 古河市庁舎広場

茨城県古河市長谷町38-18

古河市は、茨城県の最西端、関東平野のほぼ中央に位置し、市の西北部に33平方キロメートルにわたる渡良瀬遊水池があり関東周辺の山々の周景とあいまって、すばらしい景観をかもし出している。〔文化・観光〕渡良瀬遊水池、桃まつり（3月下旬～4月上旬）、公方まつり（4月上旬）、菊まつり（10月下旬）、古河まつり（8月1、2日）

レストランのテラスは舞台ともなっており、ホールのハーフミラーを全開すると内外一体を利用したイベントも企画できる。休日には祭りやコンサート、屋外パーティーなどがここで催されている。

この広場は離れていた行政と市民を近づけ、庁舎が真に自治活動のシンボル施設となることを目指すものである。

古河市では市庁舎や市民ホール、レストランなどで囲まれ、市民が集まり、憩い、楽しむなどあらゆる目的になじんで利用できる場として、市民広場を整備した。

広場にはケヤキの高木を植え、ベンチや彫刻、洋鐘時計、変化のある建物のファサード、模様張り舗装などが設備され、広場をさらに親しみのあるものにしていく。

